

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園上鶴間本町	種別：認可保育所
代表者氏名：石田 真紀子	定員（利用人数）：76名
所在地：〒252-0318 神奈川県相模原市南区上鶴間本町2-6-21	
TEL：042-705-2451	ホームページ： https://www.like-kid.co.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2017年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ライクキッズ株式会社	
職員数	常勤職員：16名 非常勤職員 4名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士 17名
	栄養士 3名
施設・設備 の概要	（居室数）
	8
	（設備等） 園庭 給食室 トイレ 沐浴室 調乳室 休憩室 更衣室

③ 理念・基本方針

（保育方針） みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛 信頼・安定・共感 〈めざす保育園像〉 ・陽だまりのような保育園 ・地域と共に育つ保育園 ・子どもと共に輝いていける保育園 （保育目標） ・自然を愛し、心身ともに健やかな子ども ・自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども ・「仲間」と関わり、人を思いやれる子ども ・自己を表現できる子ども
--

④ 施設・事業所の特徴的な取組

園庭も子どもたちが十分遊べるほどの広さがあり体を動かしての活動することが出来る。近隣には公園もあり天気がいい日にはお散歩に出掛けている。 また【自然共育】として季節の花や野菜を栽培している。気候が良いときは園庭で裸足になり泥んこ遊びをしたり、公園内の川でオタマジャクシやザリガニを探したりして生き物にも触れる機会がある。 冬は園庭に雪が積もると雪遊びをして季節を肌で感じている。 幼児教育に力を入れており、ほぼ毎日【さくらさくらんぼ】
--

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2024年 5月 24日（契約日） ～ 2024年 11月 7日（評価結果確定日）
--------	--

受審回数（前回の受審時期）	1回（令和元年度）
---------------	-----------

⑥総評

◇特長や今後期待される点

特長

園では職員が無理のない勤務ができるようなシフト体制を設けている

主任が中心となって園長と連携して勤務シフトを作成しており、職員同士の希望を調整しながら希望休は必ず取れるようにしている。非常勤勤務でなくフルタイムでの常勤勤務を希望する子育てをしている職員に対しても無理がなく常勤勤務が行えるようなシフト作成に努めている。残業も2時間までと決めており、行事前や月末の事務などの予想される多忙な時期に予定を立てて急な残業は行わないようにしている。

子どもたちの感覚的な成長を促進するために、リズム運動や自然との触れ合いを重視している

リズム運動を通じて、子どもたちは運動能力と体力向とともに、音楽のリズムやグループ活動の協調性を学んでいる。また、自然を取り入れた活動として、散歩、園庭での泥遊びや砂遊びは、子どもたちが四季を通じて楽しむことができる活動である。これらの遊びを通じて、子どもたちはさまざまな感覚を経験することができており、成長が促進していることがうかがえる。

今後期待される点

職員会議などで職員から園の運営に関する意見があがるような工夫も望まれる

園内で行う職員会議などでは、職員からの意見を聞き取り反映させていく体制が取られている。ただ、職員から上がる意見としては保育に関わる具体的な内容などについての意見は挙がりやすいものの、事業計画などの策定時などでは園の運営に関する意見などは中々、挙がらない。そのため、意見が挙がりやすい工夫などの検討が期待される。

食育活動に力を入れて取り組んでいる

食育年間計画に沿って、年齢に応じた食育活動を取り入れており、畑での栽培活動、お芋ほりなどの体験からも、季節の変化を実感し、植物が成長する過程を直接観察する機会を得ることができている。また、子どもたちにとって、食べ物がどのようにしてできるのか、自然のサイクルがどのように機能しているのかを理解する貴重な教育機会にもつながっている。クッキング、3色ボードなどの取り組みからも子どもたちが楽しく食に興味を持てるよう様々な工夫が行われている。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、受審して評価を受けて私たちの保育園の課題が明確になりました。

職員は保育についての意見は積極的に出ることがありますが、園の運営に関することはまだまだ関心が薄いことが分かりました。法人内の経営状況などを職員に伝えることでひとりひとりが意識を持ち、園全体での目標達成や改善につなげていければと思っています。また保育に対して意義を感じられる環境は、保育の質の向上にもつながり、それが利用者の信用向上にもつながっていくと考えられます。第三者評価をきっかけに学び直すいい機会となり、進むべき方向性が見えたように感じます。

また今後は保育園が本社運営部とも綿密な連携を図るようにしていきます。

開園して7年目の保育園であり、自治会ははじめ地域の方々に見守れながらのびのびと

子どもたちが育ち、地域に根付く保育園を目指していきたいです。

- ⑧第三者評価結果
別紙2のとおり